

「その三」
散財の最高潮に
旦那がお帰り。
「お清、懐から
鯛の塩焼きが
顔でしてゐるがな」
「ねんねんよー（歌う）」
「權助、立つたらあかん。
股ぐらから酢飯がポロポロ
落ちてゐるがな」
「おまはんら、
生涯給金はもらえんで」
と、言うてるところへ
表の戸を
「ドンドンドン」
「焼けてまいりました」
「どこからでございますか」
「横町の豆腐屋で
ございます」
「どんな具合で」
「二、三丁ずつ
焼けてまいります、
あと、どんだん
焼けてまいります」
旦那が表の戸を開けると
味噌の焼けた匂いが
鼻へツーンと。
「やった、
味噌蔵が焼けたがな。
火災保険に入つてて
焼け太りや。
これで味噌蔵が
三軒建つがな」

了

文昇問題 その一

妻が還暦を目前に、車の免許
を取ると、言い出した。今まで
にバイクどころか、原付にも
乗ったこともなく、自転車なら
なんとか運転できるというレベ
ルだ。昨年、若者の車離れが叫
ばれる中、また、完全自動運転
が実現しようかという今になつ
て、何故。以前なら、運転はし
ないが、顔写真入りの証明証と
して、取る人もいたが、今なら
マイナンバーカードがある。取
得に、教習所へ通わずに済む
し、ポイントまでもらえる。
上、下えらい違いだ。しかし、
どうしても取りたいなら、早い
方がいいだろう。初心者マー
クと高齢者マークを同時につけ
ることになる。それどころか、
取つてすぐに、免許証返納とい
うことになるかもしれない。
ということ、その後どう
なったかは、次号で。

「あやめの女王様とお呼び」

娘が成人を迎え、お酒も飲
めるようになりました。これを
を読まれてるみなさんの中に
は「あの小さい子が」と思
われる方も多いんじゃないんで
しょうか。幼稚園や小学校の
頃、お茶子として座布団返し
たりしてましたから。
このコロナ禍の2年に専門
学校生活が被り、リモート授

業が多くて友達もできにく
かったみたいですけど、最近
やつと仲良しもたくさんでき
て楽しそうです。
けどコロナ禍でいい事もあ
りました。母の収入が途絶
えた時期と重なったので、授
業料が全額免除になったので
す！これ、なかなかハードル
高いんですよ。ホンマに仕事
が無くなったお陰様です。何
百万ですから、大きいです。
あと、お守り代わりにと
月々二万円ぐらいの〇民共済
に入つて2週間で本人コロナに
かかったんです。自宅療養で
も十数万円の入院費が出て、母
がものすごく元気になりました
ー！ほんま、親孝行やわー

ぼーしの新婚日記

家族四人、一泊で熊野詣を
しようと十津川村経由で秘境
の玉置神社さんへ本宮大社さ
んへ熊の川道の駅に建立され
た師匠五代目文枝の筆による
顕彰碑へ神倉神社さんへ速玉
大社さん、お手頃価格で泉質
抜群の高田温泉に泊まって翌
日は、師匠も訪れた勝浦の館
料理の竹原さんでお昼をいた
だいて、那智大社さんへ青岸
渡寺さんへ再び本宮大社さん
という強行軍。
特に標高千mで石段も整備
されていない険しい登りが続
く玉置さんでは、体格のいい

妻に「険しいから代参してや
る」と言うのに「登る」と言
い張り、最後は娘たちが妻の
体を押し上げて大変な時間が
かかり、大幅に予定が狂い私
と口論になり、ついに妻はご
本殿の前で「こんなところに来
なんだらよかった！」と絶叫
した。
その夜、夕食を食べて機嫌
がよくなった妻は「ああ、い
いお詣りができてご利益があ
るわ」と満足そうに言った。
私は心の中で「バチを当て
て下さい」と呟いた。

楽珍日記

「あのおう……警備員さん♡……
あのおう……私……警備員さん
にお願いがあるの……」
胸元の〇〇小学校、1年〇組
の名札がとてもまぶしい！そし
てお下げ髪のピンクのリボンが
可愛い♡
この所、ずーずーと校門前の
横断歩道で、交通警備をしてい
る私をじい……と、たのもしそ
うに見上げている、目が合うと
恥ずかしそうに視線をそらす
……。

な顔です。」

私はマスクだけでなく、帽子
も一気に取ると、いつものハゲ
頭とでかい顔全体が出て来た、
鼻毛も出ている。
女の子は電気ショックを受け
たように、ビクツとしてカット
目を大きく見開いてびっくりし
た様に固まってしまった。
その後、すごく残念そうに、
肩を落としてトボトボと無言の
まま横断歩道を渡った。
「……？……？……？……ないしたんやろ
う？」
家に帰って娘にその話をする
と、笑いながら、「それな、その
女の子の初恋やわ」
「えーワシ小1から見るとおじ
いちゃんやで!!」
「関係無いよ、きつとお父さん
の事、たかましいスパーマン
に見えたんちゃう？」
「どないしょ？夢こわしたか
な？明日、あの子にあやまった
方がええかな？」
「いらんいらんーあのなあお父
さんー女って強いねんでえ、そ
の子もいつまでも、お父さんな
んかにっます、いでられへんよ!!」
あくる日、いつもの様に交通
警備をしている私の前を、友達
と明るく元気に楽しそうに走つ
て行く彼女に会った……。
私の心はっます、いたまんま、
あ、る。*